



Twitterについての調査レポート

2010/4/20

株式会社ネットマイル
<http://research.netmile.co.jp/>

※本レポートについて、当社の許可なく無断転載・複写を禁じます。また、本レポートにかかわる損害賠償の責を一切負いません。
本レポートの転載、および一部引用が必要な場合には、お問い合わせフォームよりご連絡ください。

調査概要

調査タイトル:	Twitterについてのアンケート
調査手法:	インターネットリサーチ(ネットマイル会員による回答)
調査票種別:	Easyリサーチ
実施期間:	2010/4/2 16:16 ~ 2010/4/5 16:53
回答モニタ数:	10,000

ネットマイルではTwitterについて、2010年4月2日から4月5日にかけてアンケート調査を実施した。

回答者10,000名の状況は「男性」が60.5%、「女性」が39.5%。年代は「10代」が0.6%、「20代」が11.0%、「30代」が35.0%、「40代」が33.8%、「50代」が14.4%、「60代以上」が5.4%。婚姻状況は「未婚」が41.3%、「既婚」が58.7%。居住地域は「北海道・東北地区」が8.6%、「関東地区」が43.2%、「北陸・甲信越地区」が5.1%、「東海地区」が11.0%、「近畿地区」が18.3%、「中国地区」が4.7%、「四国地区」が2.2%、「九州・沖縄地区」が7.0%であった。

回答の結果から、アンケート回答者10,000名におけるTwitterの認知率は9割以上に達し、ほとんどの人がTwitterを知っている(聞いたことがある)ということがわかった。一方でTwitterの登録率は全体の8.8%と1割に満たなかったほか、Twitterを「知っているが使ったことはない」人の中での今後の利用意向も2割程度と低めであった。

さらに、本調査に進んだ576名において、Twitterを利用し始めた時期は“2009年10月以降”が7割近くと最も多いことがわかった。

また、ツイート内容としては、「今している行動について」「考え方や意見について」「趣味について」が上位に挙げられ、「インターネットを閲覧しているとき」「ヒマなとき」「手持ち無沙汰なとき」にTwitterを利用することが多いようだ。

さらに、Twitterは「情報を得る」「ひまつぶしをする」「他人とゆるいつながりをもつ」ことに役立つと考えられているほか、Twitterの利用で増えたのは“最新・重要な情報の取得機会”、一方減ったのは“睡眠”という結果であった。

以下、それぞれの回答結果についてレポートする。

Twitterの認知率は9割超えるも、登録率は1割満たず

「Twitter(短いメッセージを送信しあうコミュニケーションサービス)について、あなたが当てはまるものをお選びください。」という質問をおこなった。

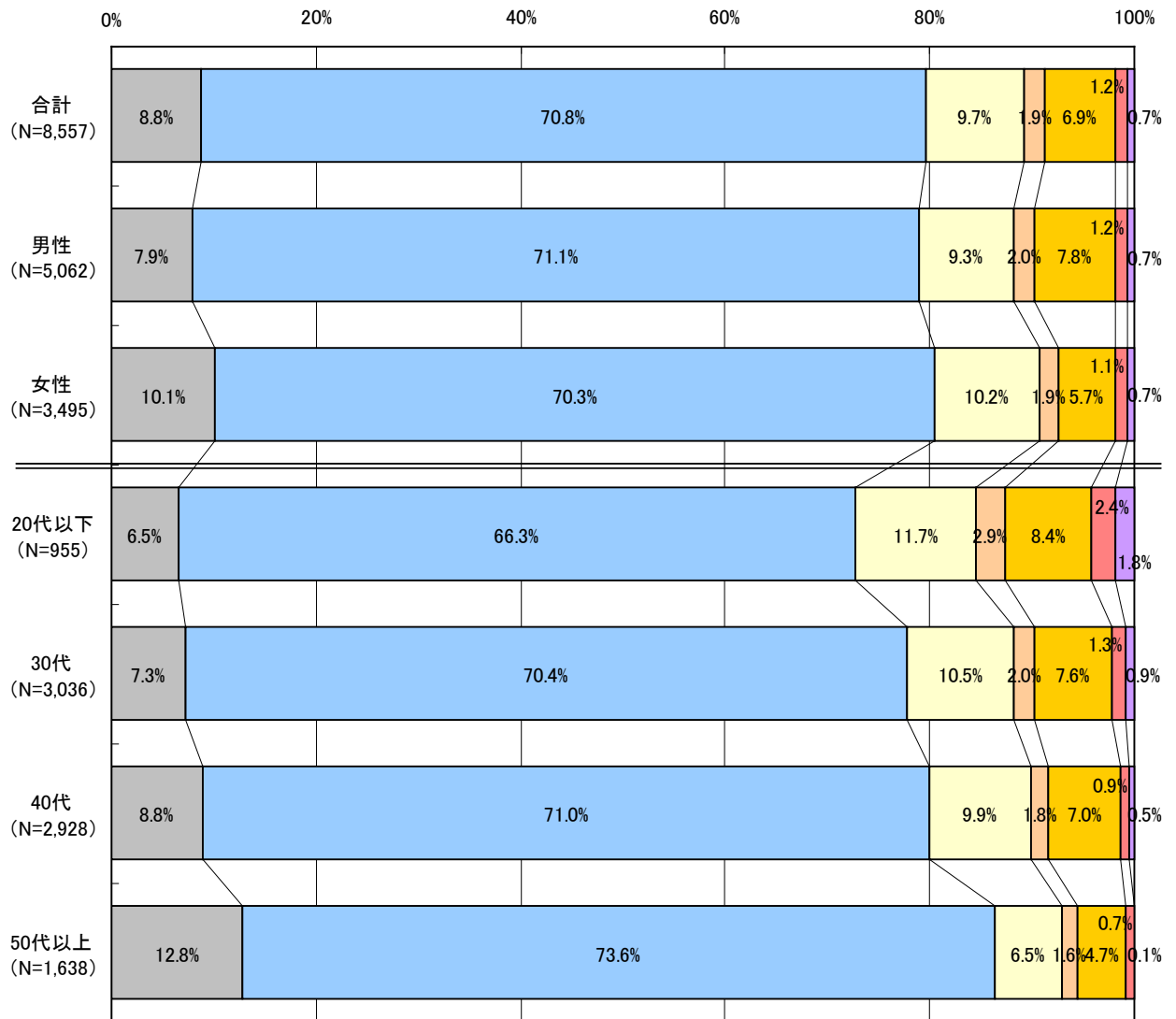
全体では「知らない(聞いたことがない)」の回答率が8.8%、「知っているが使ったことはない」が70.8%、「知っており、登録はしていないが閲覧したことがある」が9.7%、「知っており、登録はしていないが頻繁に閲覧している」が1.9%、「登録をして主に閲覧し、たまにツイートしている(つぶやいている)」が6.9%、「登録をして頻繁にツイートしている(つぶやいている)」が1.2%、「登録をして頻繁にツイートし(つぶやき)、ブログなどと連動している」が0.7%であった。

Twitterの認知率は9割を超えたが、登録率は1割に満たないという結果であった。

認知率・登録率ともに男女でほとんど差は見られなかったが、年代で比較してみると、年代が上がるにつれ認知率・登録率ともに低下したことがわかった。

Twitterの認知率は9割超えるも、登録率は1割満たず

sQ3 Twitter(短いメッセージを送信しあうコミュニケーションサービス)について、
あなたが当てはまるものをお選び下さい。

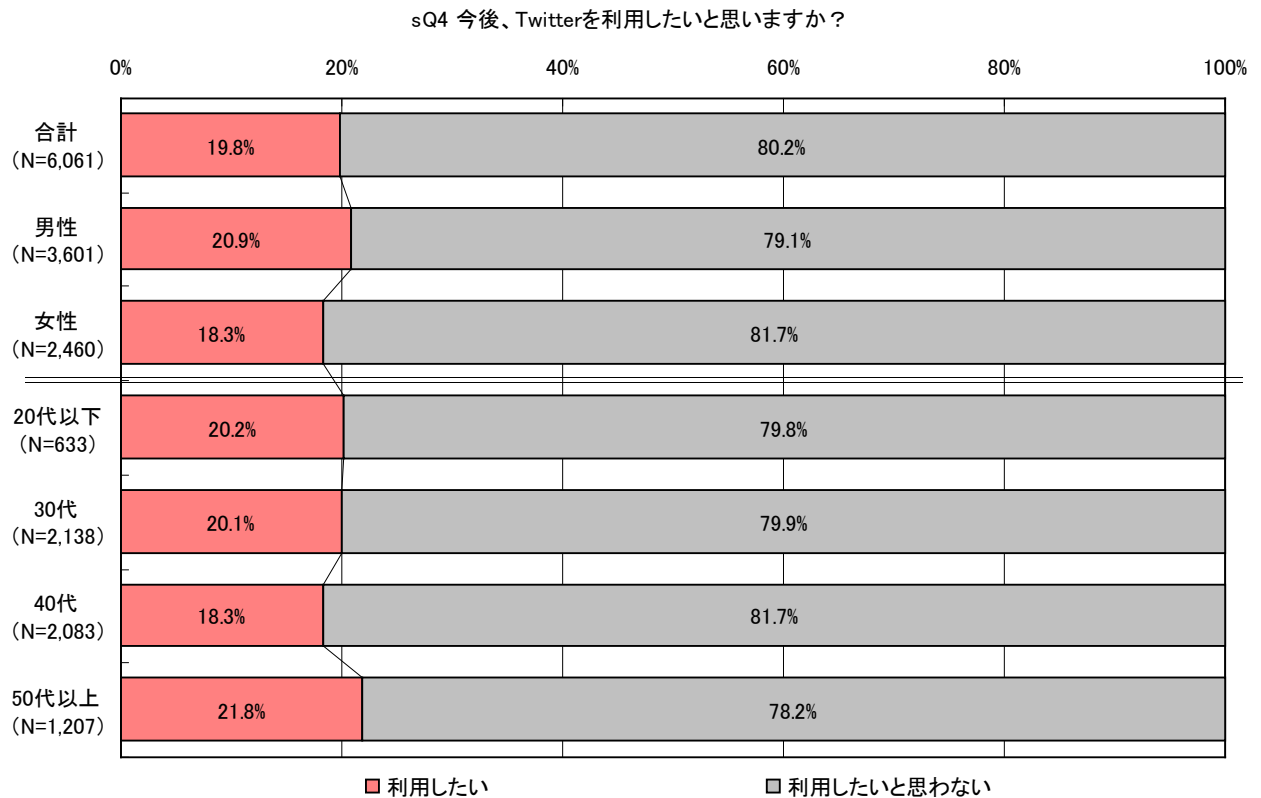


- 知らない(聞いたことがない)
- 知っており、登録はしていないが閲覧したことがある
- 登録をして主に閲覧し、たまにツイートしている(つぶやいている)
- 登録をして頻繁にツイートしている(つぶやき)、ブログなどと連動している
- 知っているが使ったことはない
- 知っており、登録はしていないが頻繁に閲覧している
- 登録をして頻繁にツイートしている(つぶやいている)

Twitterの今後の利用意向は2割程度

「Twitter(短いメッセージを送信しあうコミュニケーションサービス)について、あなたが当てはまるものをお選びください。」という質問に対し、「知っているが使ったことはない」と回答した6,061名に対し、「今後、Twitterを利用したいと思いますか?」という質問をおこなった。全体では、「利用したい」の回答率が19.8%、一方「利用したいと思わない」が80.2%と、利用意向は2割程度という結果であった。

男女比較・年代比較ともに回答率に大きな差はなかった。



Twitterの利用開始は“2009年10月以降”が7割近く。また“ツイートしている”人に限っては「2010年1月以降」が4割を大きく超え最多。

ここからは、回答者10,000名のうち“普段、多少なりとも独り言を言ったりつぶやいたりして、かつTwitterを閲覧したことがある、あるいはTwitterでツイートしたこと(つぶやいたこと)がある”に該当し、不備無く最後までアンケートに回答した576名に対する調査結果をレポートする。

なお、回答者576名の状況は「男性」が59.2%、「女性」が40.8%。年代は「10代」が0.7%、「20代」が15.1%、「30代」が37.3%、「40代」が34.7%、「50代」が9.5%、「60代以上」が2.6%。婚姻状況は「未婚」が54.0%、「既婚」が46.0%。居住地域は「北海道・東北地区」が8.5%、「関東地区」が50.7%、「北陸・甲信越地区」が4.0%、「東海地区」が8.7%、「近畿地区」が16.5%、「中国地区」が4.7%、「四国地区」が1.7%、「九州・沖縄地区」が5.2%であった。

「あなたがTwitterを始めたのはいつ頃ですか？」という質問をおこなった。

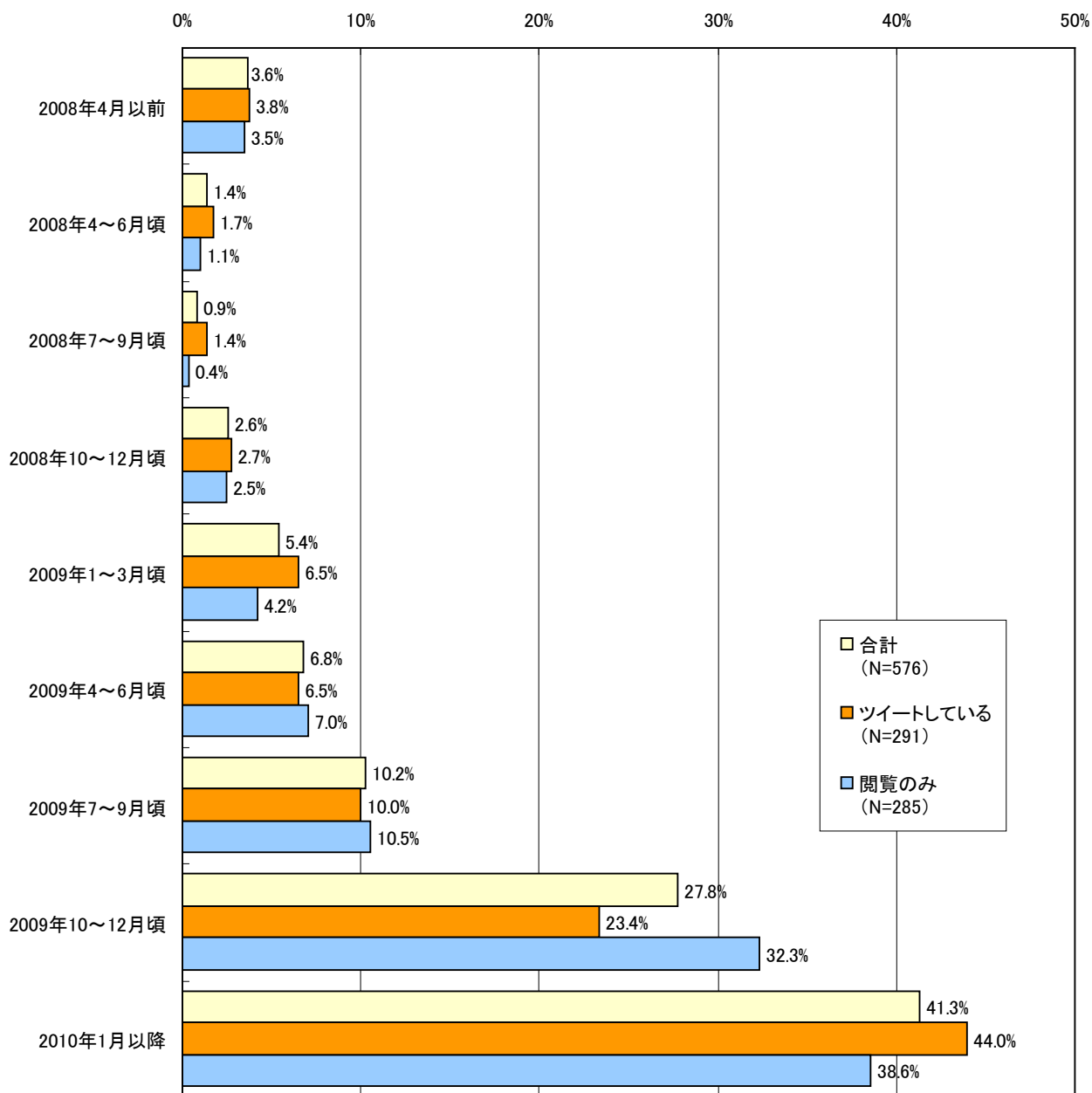
全体では、「2010年1月以降」の回答率が41.3%と最も高く、次いで「2009年10～12月頃」が27.8%と続き、7割近くの人が“2009年10月以降”にTwitterを利用し始めたことがわかった。

Twitterの利用方法別にみると、“閲覧のみ”では「2009年10～12月頃」の回答率が32.3%、「2010年1月以降」が38.6%と微増にとどまった一方、“ツイートしている”では「2009年10～12月頃」の回答率が23.4%であったのに対し「2010年1月以降」が44.0%と一気に増加した。

2008年4月に開始した日本語版Twitterサービスだが、実に1年以上の時を経てようやく利用が進んできたといえそうだ。

Twitterの利用開始は“2009年10月以降”が7割近く。また“ツイートしている”人に限っては「2010年1月以降」が4割を大きく超え最多。

Q1 あなたがTwitterを始めたのはいつ頃ですか？
 (閲覧のみの利用の方は、閲覧を開始した時期についてお答えください。)



“つぶやく頻度”では「不定期」、「閲覧する頻度」では「毎日数回」が最多

「あなたのツイートする(つぶやく)頻度・閲覧する頻度を教えてください。」という質問をおこなった。

【ツイートする(つぶやく)頻度】では、全体では「不定期」の回答率が13.9%と最も高く、次いで「毎日数回」が12.5%、「数日に1回程度」が9.0%と続いた。また「ツイートしたことはない(閲覧のみの利用)」は40.3%と4割に達しており、これを男女別にみると男性が33.7%、女性が49.8%と、女性の方が“閲覧のみ”の利用が多いという結果であった。

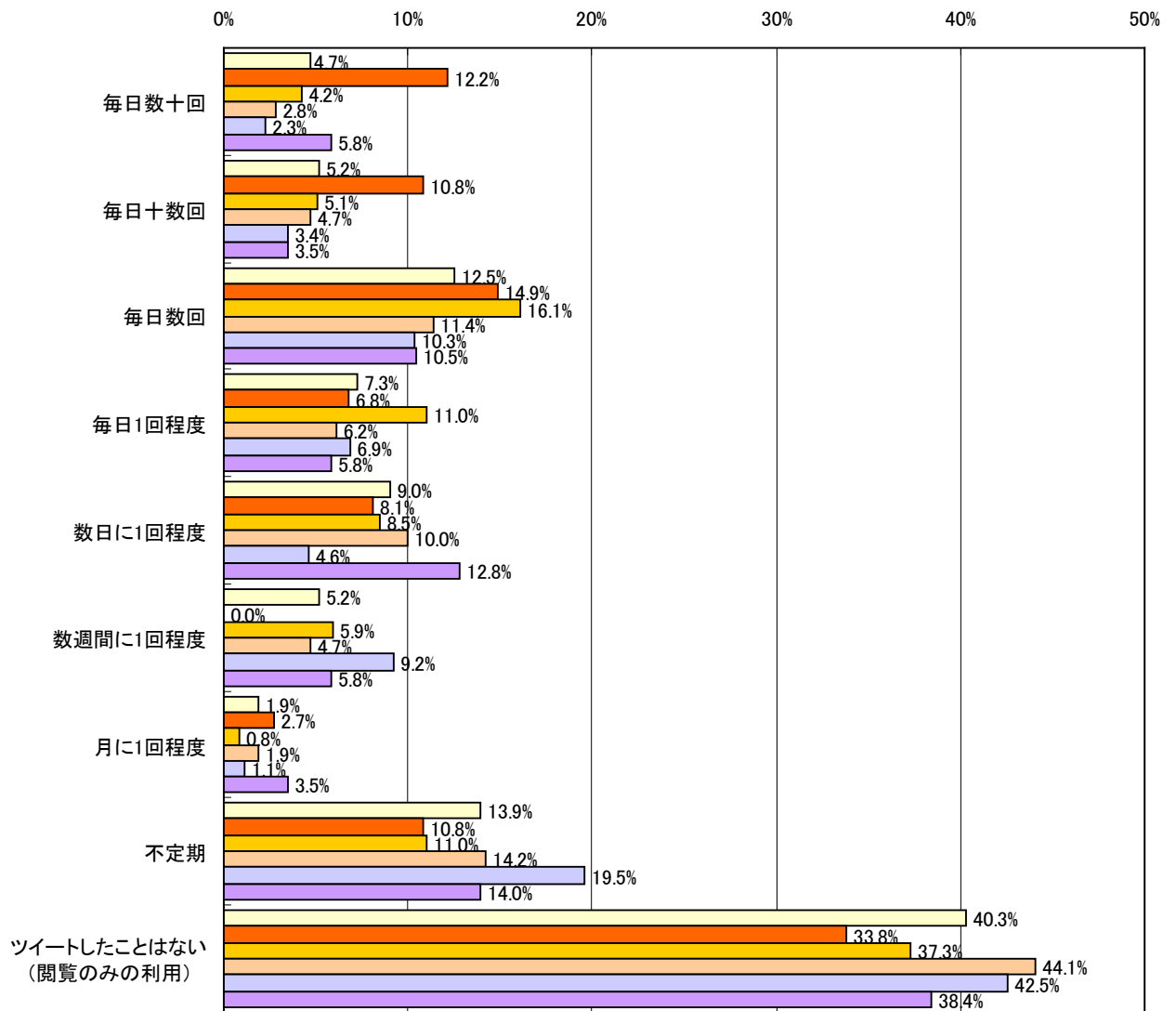
【閲覧する頻度】では、全体では「毎日数回」の回答率が26.9%と最も高く、次いで「不定期」が18.2%、「数日に1回程度」が15.6%と続いた。

一方、日頃の“独り言”を言う状況と比較してみると、【ツイートする(つぶやく)頻度】【閲覧する頻度】のいずれの場合においても、「かなり独り言を言ったり、つぶやいたりしている」の回答者において「毎日数十回」や「毎日十数回」といった高頻度の回答率が他に比べやや高かった。

Twitterを利用している人の中で、日頃から独り言を言うことが多い人ほど、Twitter上でも頻繁につぶやきつつ、他人のつぶやきにも敏感になっていると言えそうだ。

“つぶやく頻度”では「不定期」、 “閲覧する頻度”では「毎日数回」が最多

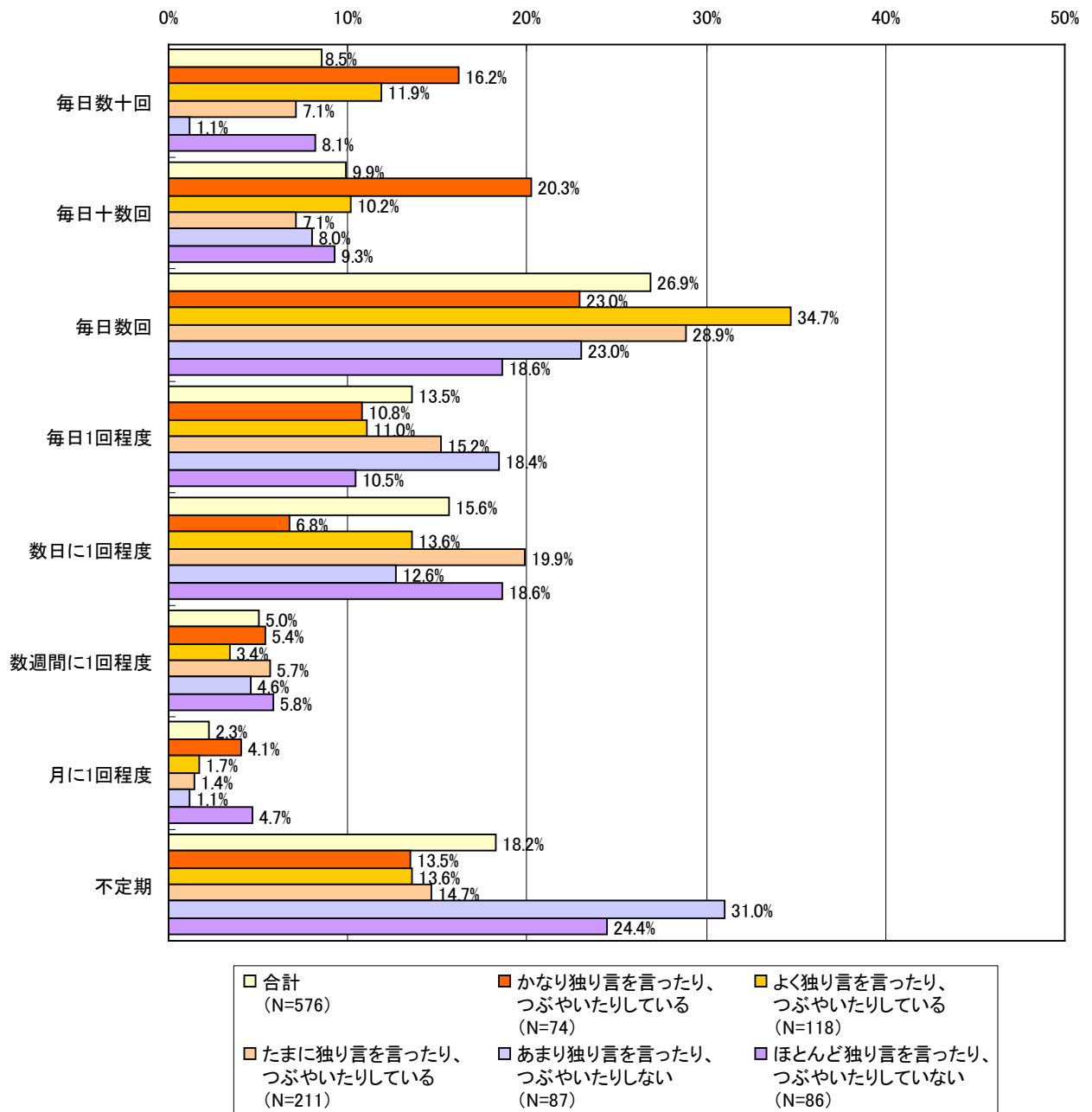
Q2 あなたのツイートする(つぶやく)頻度・閲覧する頻度を教えてください。
【ツイートする(つぶやく)頻度】



- 合計 (N=576)
- かなり独り言を言ったり、つぶやいたりしている (N=74)
- よく独り言を言ったり、つぶやいたりしている (N=118)
- たまに独り言を言ったり、つぶやいたりしている (N=211)
- あまり独り言を言ったり、つぶやいたりしない (N=87)
- ほとんど独り言を言ったり、つぶやいたりしていない (N=86)

“つぶやく頻度”では「不定期」、「閲覧する頻度」では「毎日数回」が最多

Q2 あなたのツイートする(つぶやく)頻度・閲覧する頻度を教えてください。
【閲覧する頻度】



Twitterを利用するのは「インターネットを閲覧しているとき」 「ヒマなとき」「手持ち無沙汰なとき」

「どのような時にツイートしますか(つぶやきますか)?あるいは、どのような時にTwitterを閲覧しますか?最も時間を費やしていると思うもの1つをお選びください。」という質問をおこなった。

全体では、「インターネットを閲覧しているとき」の回答率が43.1%とかなり高く、次いで「ヒマなとき(他にやることがないとき)」が19.6%と続き、他の項目は1割に満たなかった。

男女で比較してみると、「インターネットを閲覧しているとき」では、男性が37.5%、女性が51.1%と、男性よりも女性の回答率が高かった。

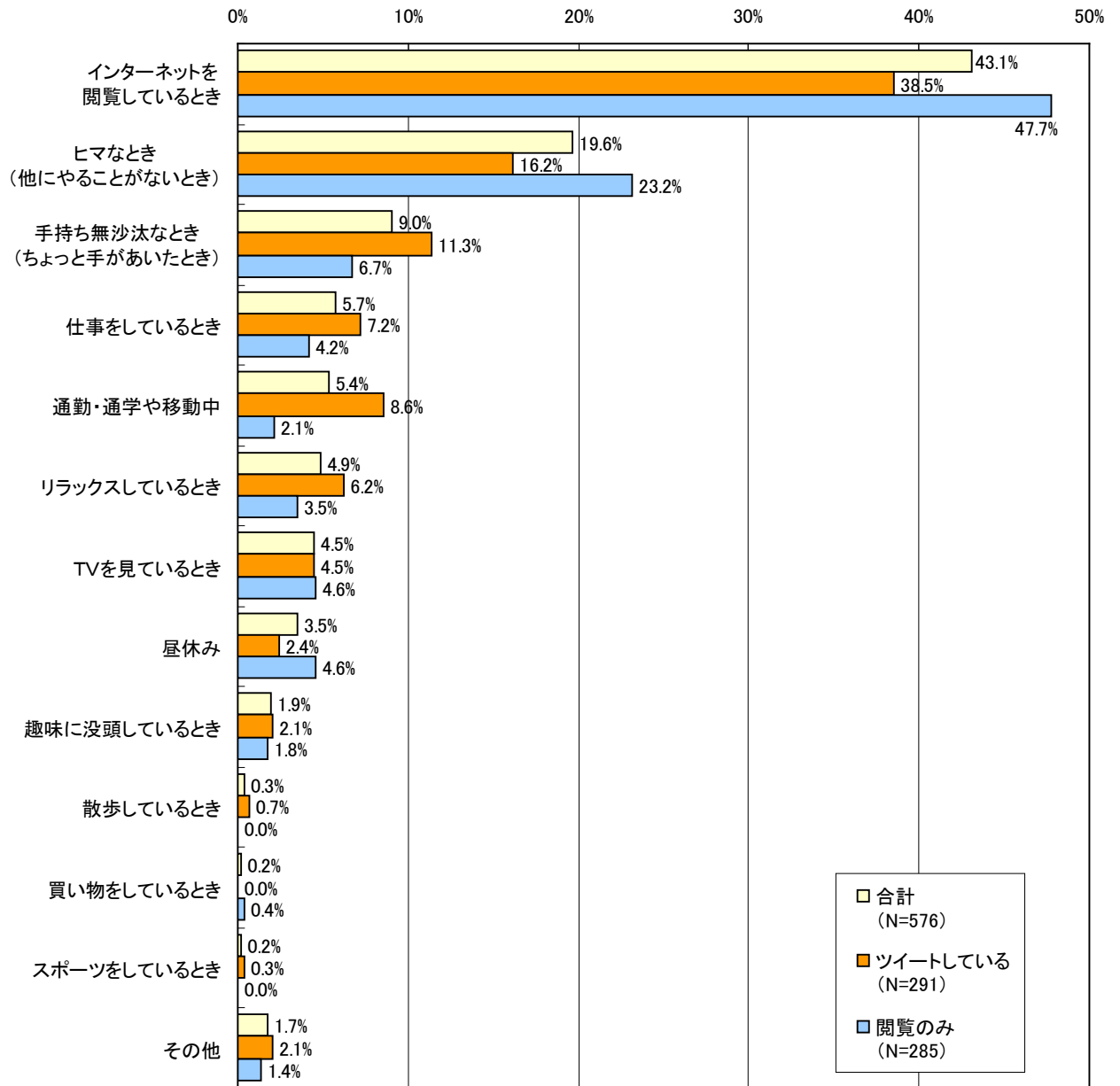
また、年代で比較してみると、「30代」「40代」において「インターネットを閲覧しているとき」、「20代以下」において「ヒマなとき(他にやることがないとき)」の回答率が他の年代に比べやや高かった。

さらに、Twitterの利用スタイル別にみると、“ツイートしている”では「インターネットを閲覧しているとき」の回答率が38.5%と最も高く、次いで「ヒマなとき(他にやることがないとき)」が16.2%、「手持ち無沙汰なとき(ちょっと手があいたとき)」が11.3%と続いた。一方“閲覧のみ”では「インターネットを閲覧しているとき」の回答率が47.7%と半数近くに達し、次いで「ヒマなとき(他にやることがないとき)」が23.2%と続き、他の項目は1割に満たなかった。

ツイートしている人も閲覧だけの人も、“インターネット中”や“やることがないとき”“ちょっと時間があるとき”など、何かの“ついで”や“ヒマをもてあましたとき”にTwitterを利用することが多いようだ。

Twitterを利用するのは「インターネットを閲覧しているとき」 「ヒマなとき」「手持ち無沙汰なとき」

Q3 どのような時にツイートしますか(つぶやきますか)?
あるいは、どのような時にTwitterを閲覧しますか?
最も時間を費やしていると思うもの1つをお選びください。



ツイート内容1位は「今している行動について」 2位は「考え方や意見について」3位は「趣味について」

「何を使ってツイートしていますか(つぶやいていますか)?あるいは、何を使ってTwitterを閲覧していますか?」という質問をおこなった。

全体では、「据え置き型パソコン」の回答率が61.8%と圧倒的に高く、次いで「モバイルパソコン」が15.3%、「携帯電話(iPhoneなどスマートフォン以外)」が11.1%と続いた。

Twitterの利用スタイル別にみると、“ツイートしている”では「据え置き型パソコン」の回答率が58.1%とかなり高く、次いで「携帯電話(iPhoneなどスマートフォン以外)」が14.4%、「モバイルパソコン」が12.7%と続いた。一方“閲覧のみ”では「据え置き型パソコン」の回答率が65.6%とかなり高く、次いで「モバイルパソコン」が17.9%と続き、他の項目は1割に満たなかった。

ツイートしている人も閲覧だけの人も、「据え置き型パソコン」からのTwitter利用が大半という状況で、“モバイルパソコン、携帯電話、スマートフォン”からの利用はまだまだ拡大の余地があると言えそうだ。

続けて、「あなたのツイートする(つぶやく)頻度・閲覧する頻度を教えてください。」という質問に対し、「ツイートしたことはない(閲覧のみの利用)」と回答した人を除いた344名に対し、「どのような内容をツイートする(つぶやく)ことが多いですか?最も多いと思うもの1つをお選びください。」という質問をおこなった。

全体では、「今している行動」の回答率が34.0%と最も高く、次いで「考え方や意見について」が27.9%、「趣味について」が13.7%と続いた。

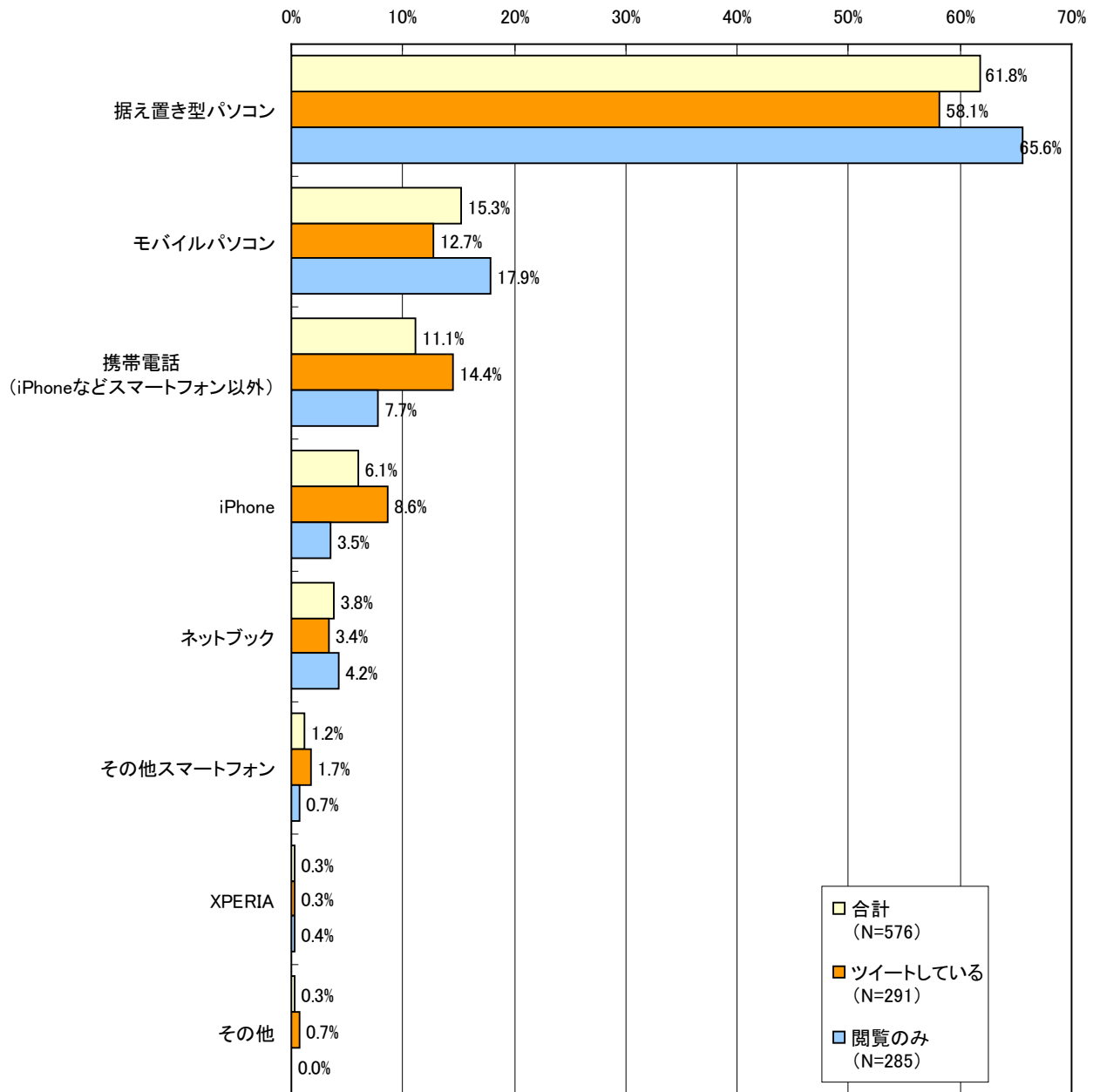
男女で比較してみると、「今している行動について」では、男性が31.9%、女性が38.1%と男性よりも女性の回答率がやや高かった。

また、年代で比較してみると、「20代以下」「30代」において「今している行動について」、「40代」「50代以上」において「ニュースについて」の回答率が他の年代に比べ高かった。

さらに、Twitter利用時の使用機器で比較してみると、「今している行動について」では、「据え置き型パソコン」が30.0%、「モバイルパソコン・ネットブック」が37.3%、「携帯電話・iPhone・その他スマートフォンなど」が41.2%という結果であった。「据え置き型パソコン」からのTwitter利用が圧倒的に多い状況ではあるが、“今”を伝えるためには持ち歩き出来る機器が重宝されているようだ。

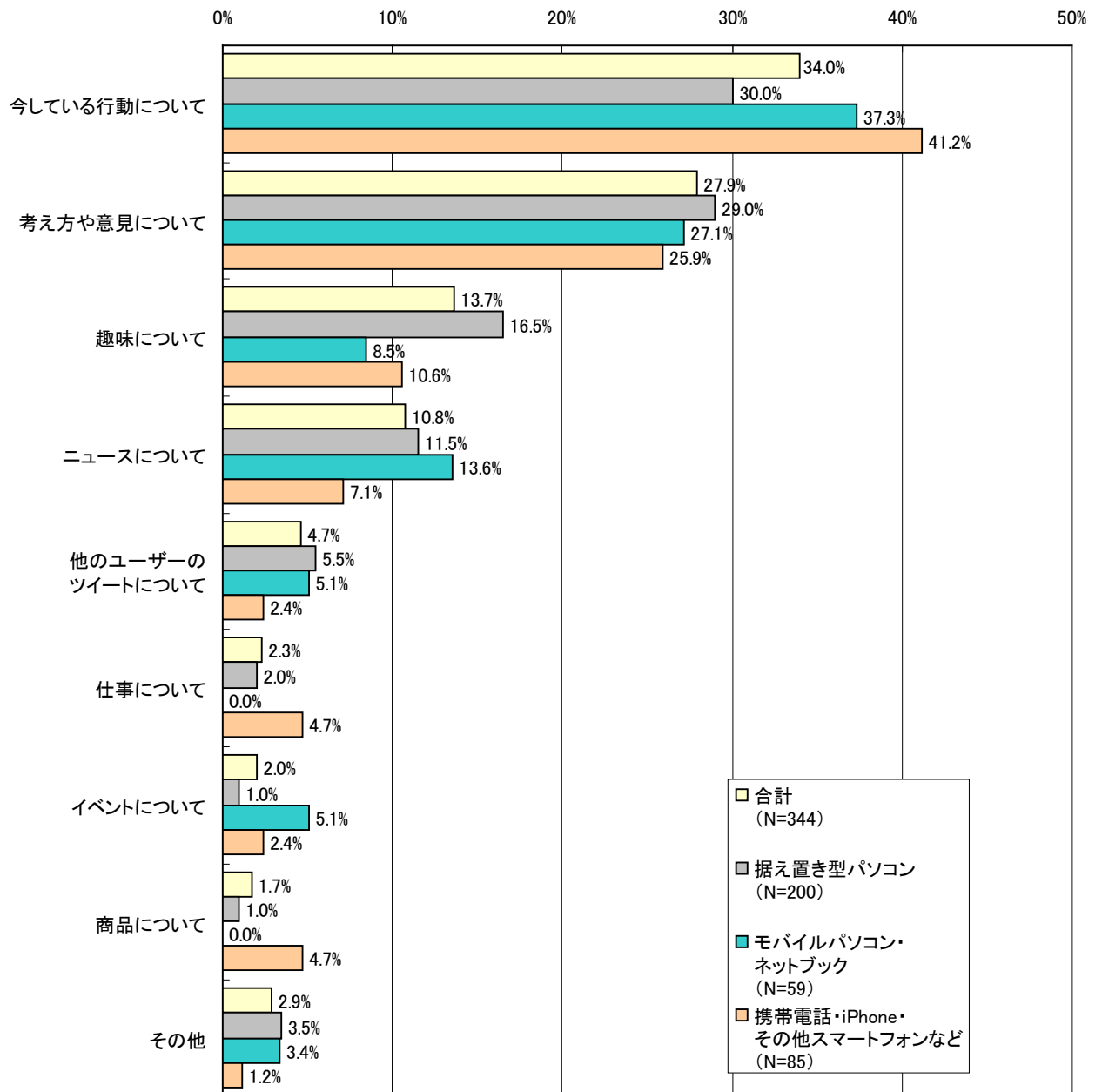
ツイート内容1位は「今している行動について」 2位は「考え方や意見について」3位は「趣味について」

Q4 何を使ってツイートしていますか(つぶやいていますか)？
あるいは、何を使ってTwitterを閲覧していますか？



ツイート内容1位は「今している行動について」 2位は「考え方や意見について」3位は「趣味について」

Q5 どのような内容をツイートする(つぶやく)ことが多いですか？
最も多いと思うもの1つをお選びください。



Twitterは「情報を得る」「ひまつぶしをする」「他人とゆるいつながりをもつ」ことに役立つ

「Twitterを使って特に役に立つと思うことを、以下の中から1つお選びください。」という質問をおこなった。

全体では、「情報を得る」の回答率が33.5%と最も高く、次いで「ひまつぶしをする」が19.6%、「他人とゆるいつながりをもつ」が16.0%と続いた。

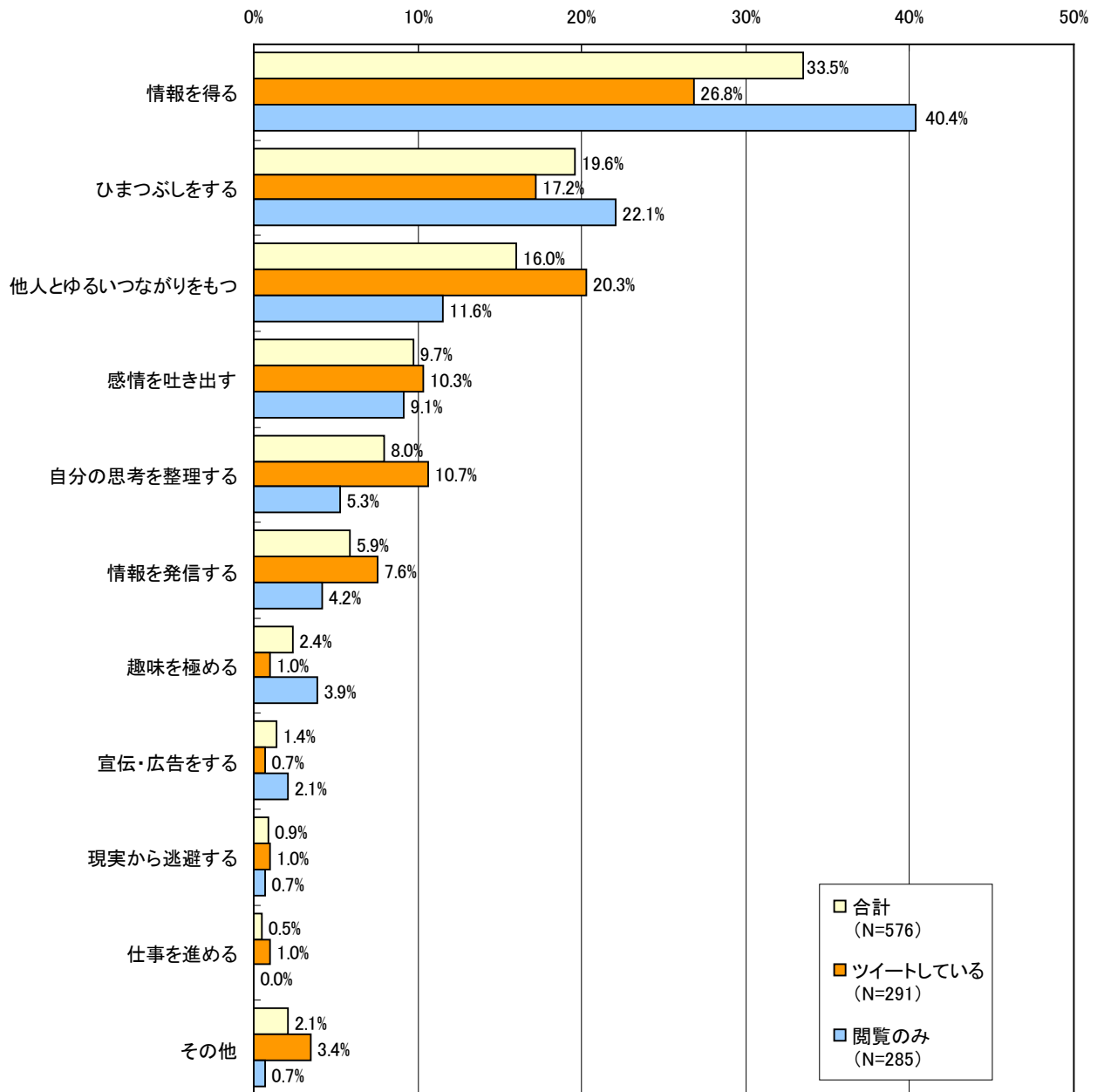
男女で比較してみると、「情報を得る」では女性よりも男性、一方「ひまつぶしをする」では男性よりも女性の回答率が高かった。

また、年代で比較してみると、「50代以上」において「自分の思考を整理する」や「情報を発信する」の回答率が他の年代に比べわずかながら高かった。

さらに、Twitterの利用スタイル別にみると、“ツイートしている”では「情報を得る」の回答率が26.8%と最も高く、次いで「他人とゆるいつながりをもつ」が20.3%、「ひまつぶしをする」が17.2%と続いた。一方“閲覧のみ”では「情報を得る」の回答率が40.4%と最も高く、次いで「ひまつぶしをする」が22.1%、「他人とゆるいつながりをもつ」が11.6%と続いた。ツイートしている人も閲覧だけの人も、Twitter利用を“情報取得”のための機会として有効に捉えつつ、“ひまつぶし”をしたり、“ゆるくつながる”ことを楽しんでいることがうかがえる結果であった。

Twitterは「情報を得る」「ひまつぶしをする」「他人とゆるいつながりをもつ」ことに役立つ

Q6 Twitterを使って特に役に立つと思うことを、以下のの中から1つお選びください。



Twitterの利用で増えたのは “最新・重要な情報の取得機会”、一方減ったのは“睡眠”

「Twitterを利用する前と後で、あなたの生活においてどのような変化がありましたか？」という質問を17項目に渡っておこなった。

「増えた(上がった)」と「やや増えた(やや上がった)」の回答率をあわせた“増えた”でみると、全体では1位が「最新の情報の入手」34.4%、2位が「重要な情報の入手」23.3%、3位が「ネットを使う時間」22.0%、4位が「ワクワクすること」21.0%、5位が「ネットで知り合った友人」11.3%という結果であった。

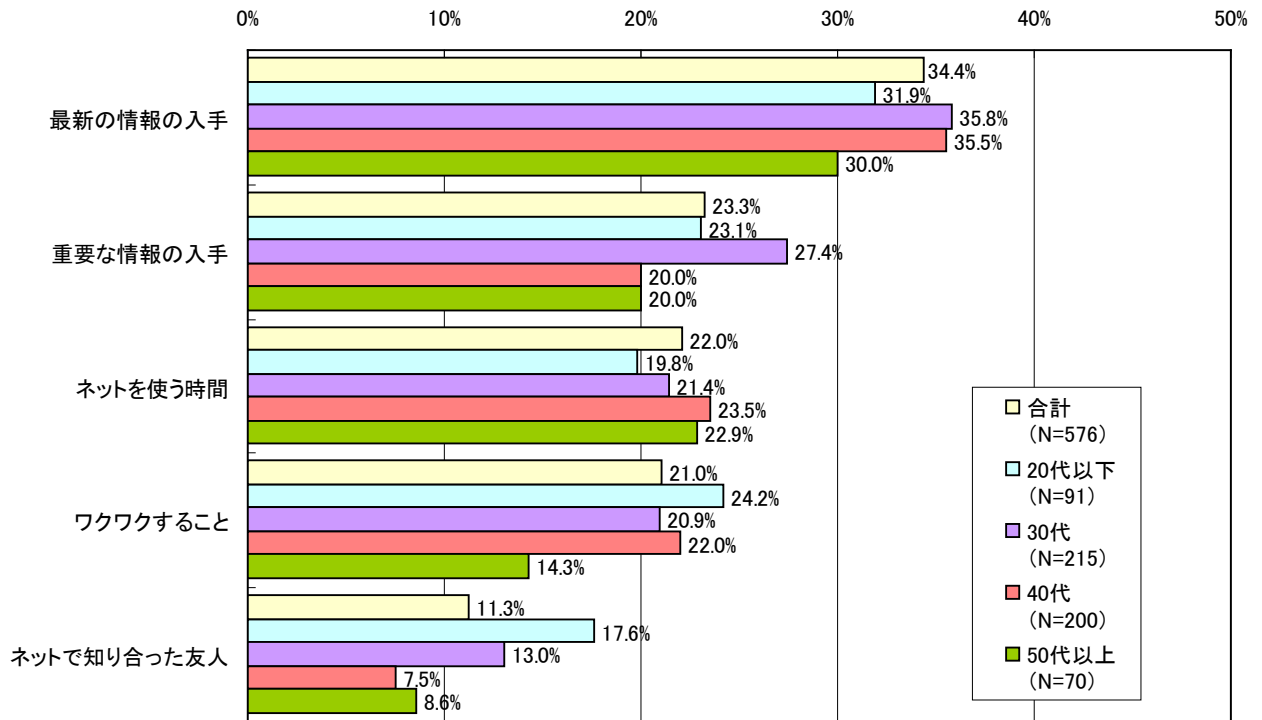
また、「やや減った(やや下がった)」と「減った(下がった)」の回答率をあわせた“減った”でみると、全体では1位が「睡眠時間」11.6%、2位が「外出時間」7.3%、3位が「家事の効率」6.1%、4位が「勉強時間」5.6%、5位が「仕事の効率」5.4%という結果であった。

年代で比較してみると、「30代」「40代」において「最新の情報の入手」が“増えた”、「30代」において「重要な情報の入手」が“増えた”の回答率が他の年代に比べやや高くなっており、Twitter利用によって“情報取得機会”に恵まれたと感じているのは「30代」「40代」に多いことがわかった。一方で「20代以下」において「勉強時間」「外出時間」「仕事の効率」が“減った”の回答率がいずれも1割近くに達し、他の年代に比べやや高かった。

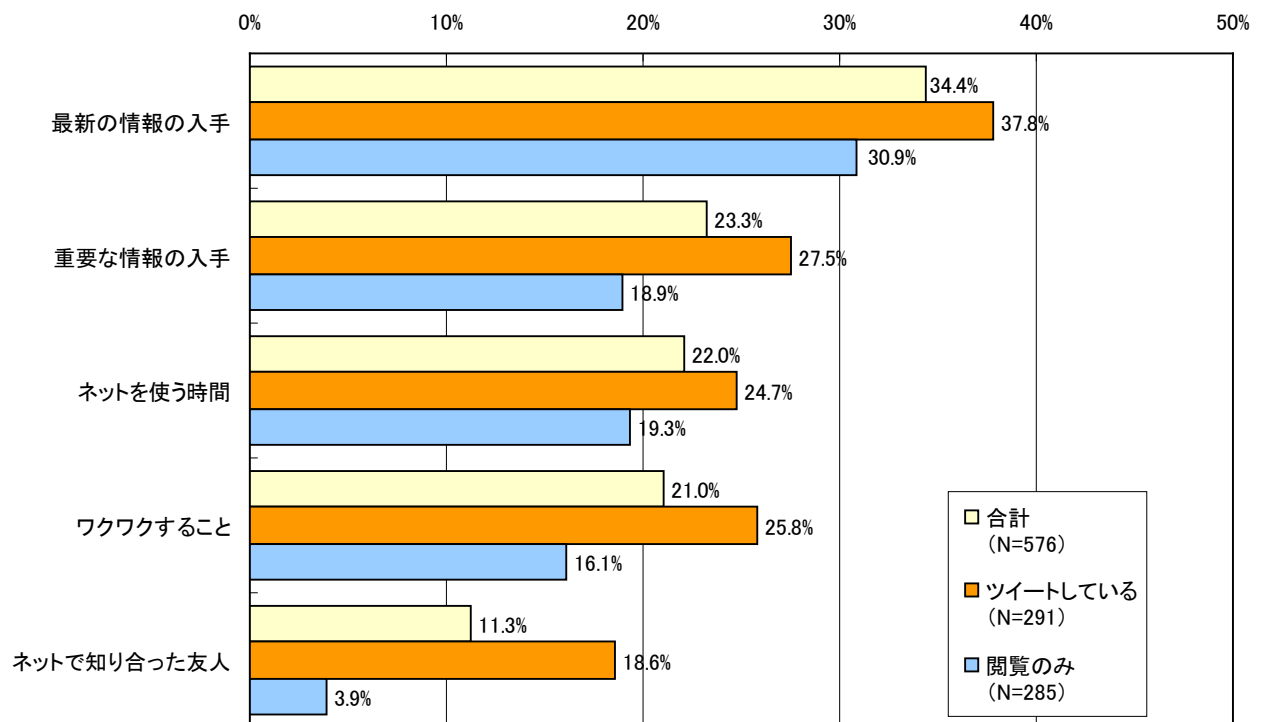
さらに、Twitterの利用スタイルで比較してみると、「最新の情報の入手」「重要な情報の入手」ともに“閲覧のみ”よりも“ツイートしている”の回答率が高く、自らも積極的につぶやいている人の方が情報感度が高い様子が見えてきた。

Twitterの利用で増えたのは “最新・重要な情報の取得機会”、一方減ったのは“睡眠”

Q7 Twitterを利用する前と後で、あなたの生活において
どのような変化がありましたか？
<増えた(上がった)と やや増えた(やや上がった)の合計> (上位5位)

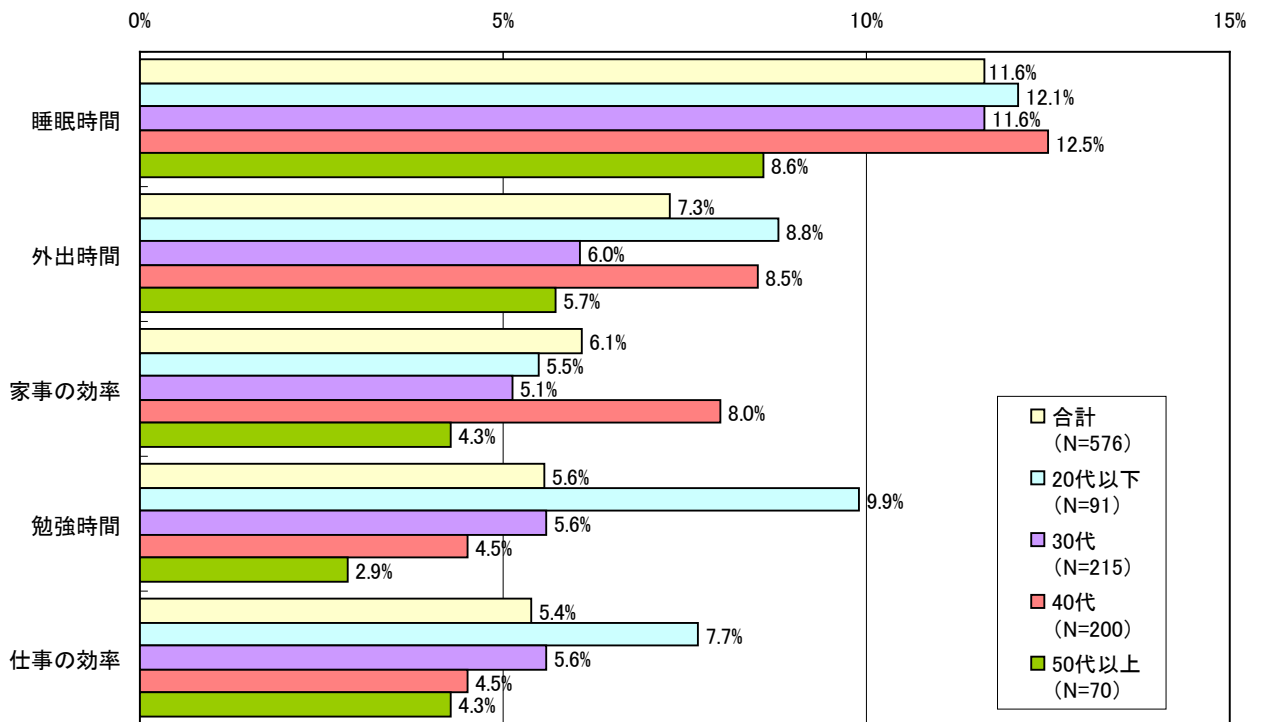


Q7 Twitterを利用する前と後で、あなたの生活において
どのような変化がありましたか？
<増えた(上がった)と やや増えた(やや上がった)の合計> (上位5位)

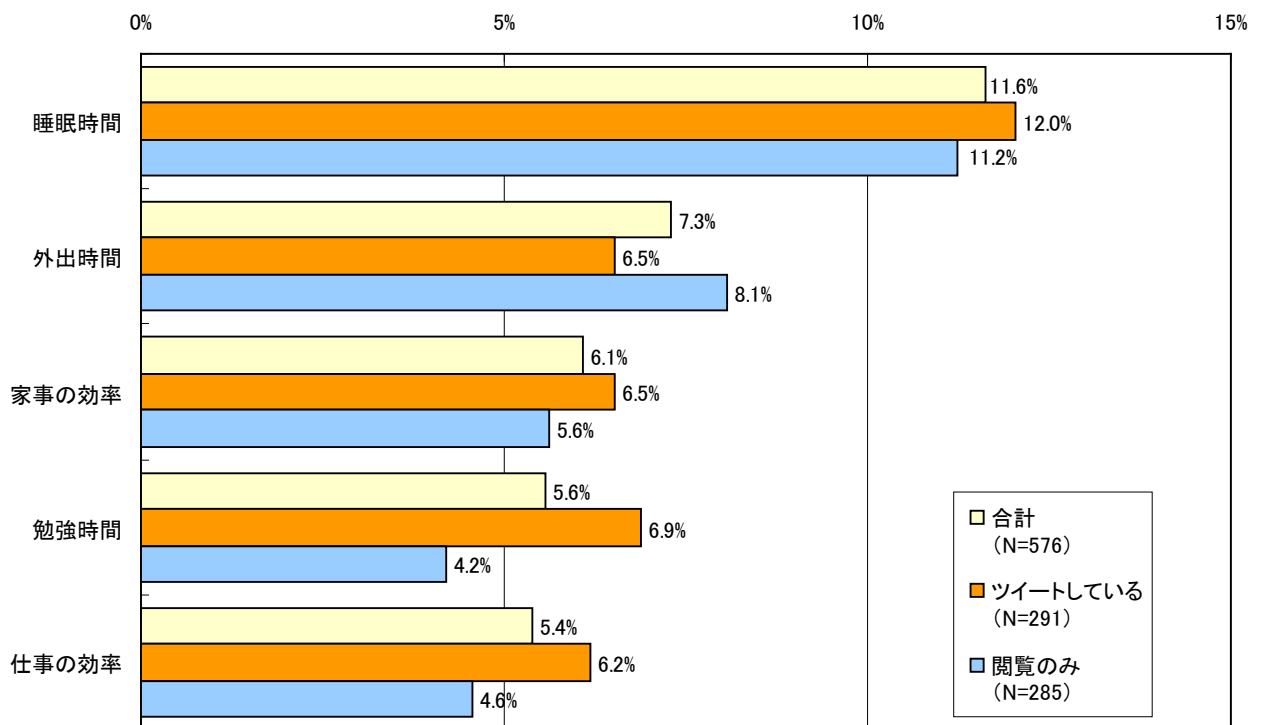


Twitterの利用で増えたのは “最新・重要な情報の取得機会”、一方減ったのは“睡眠”

Q7 Twitterを利用する前と後で、あなたの生活において
どのような変化がありましたか？
<やや減った(下がった)と減った(やや下がった)の合計> (上位5位)



Q7 Twitterを利用する前と後で、あなたの生活において
どのような変化がありましたか？
<やや減った(下がった)と減った(やや下がった)の合計> (上位5位)



ツイートしている人は閲覧だけの人よりも、フォローしている人のツイートを“参考になっている”

「フォローしている人のツイートについて、どの程度参考にしているか教えてください。」という質問を4項目に渡っておこなった。

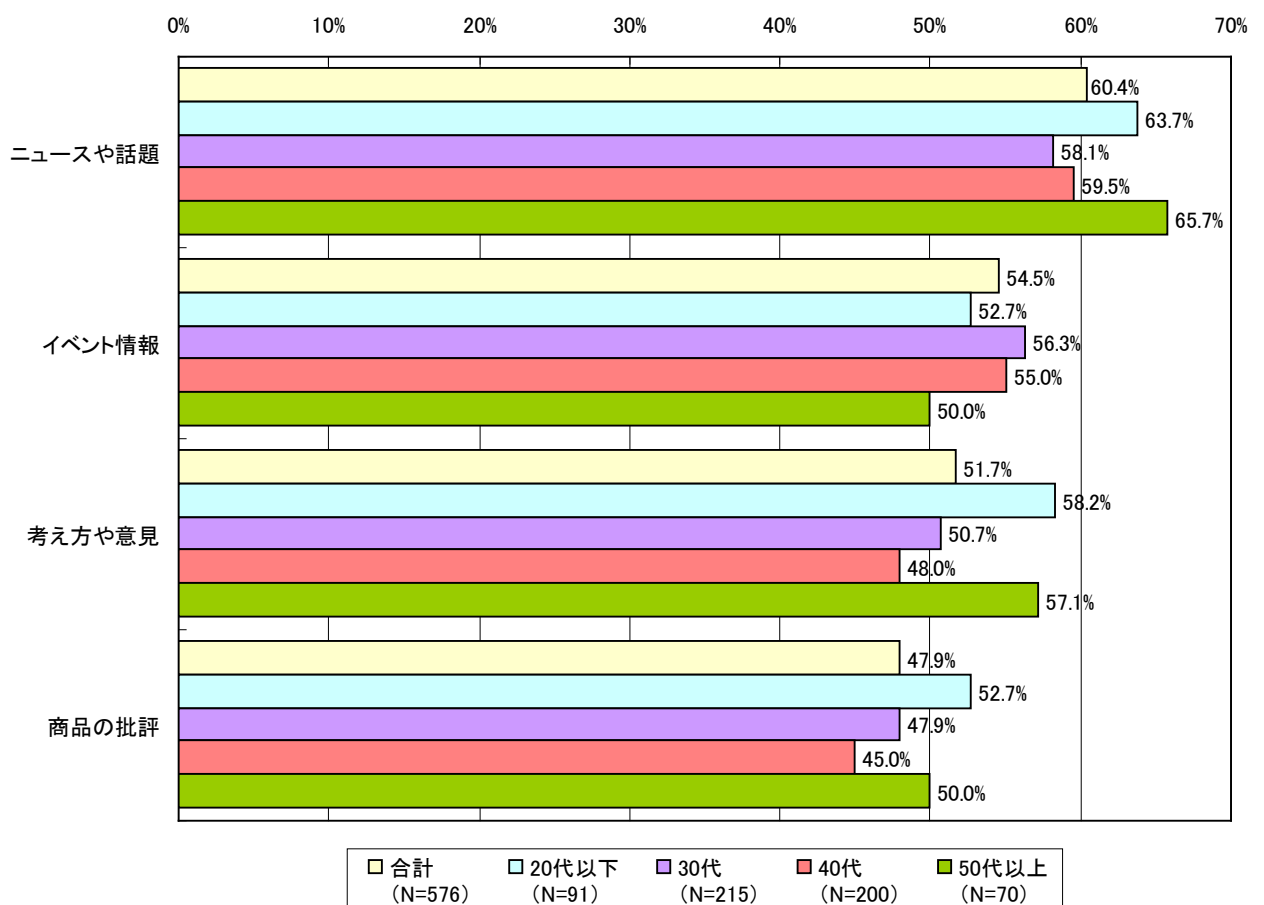
「とても参考にしている」と「やや参考にしている」の回答率をあわせた“参考にしている”でみると、全体では「ニュースや話題」が60.4%、「イベント情報」が54.5%、「考え方や意見」が51.7%、「商品の批評」が47.9%という結果であった。

年代で比較してみると、「20代以下」と「50代以上」において「ニュースや話題」「考え方や意見」といった項目の回答率が他の年代に比べ若干高かった。

また、Twitterの利用スタイルで比較してみると、4項目全てにおいて“閲覧のみ”よりも“ツイートしている”の回答率が高く、とりわけ「ニュースや話題」「考え方や意見」といった項目において回答率の差が大きかった。

ツイートしている人は閲覧だけの人よりも、フォローしている人のツイートを“参考にしている”ことが多いという結果であった。

Q9 フォローしている人のツイートについて、
どの程度参考にしているか教えてください。
<とても参考にしていると やや参考にしている の合計>



ツイートしている人は閲覧だけの人よりも、 フォローしている人のツイートを“参考にしている”

Q9 フォローしている人のツイートについて、
どの程度参考にしているか教えてください。
<とても参考にしていると やや参考になっているの合計>

